

履修科目一覧表

	授業形態	教育科目名	担当教員	科目内容	単位数	週授業時間数		時間数
						1年次		
						前期	後期	
一般科目	◇	ビジネス基礎	池田 毅	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し経済社会の一員として望ましい心構えを身に付ける。	2	2		30
	◇	経済学入門	池田 毅	社会情勢を的確に判断できる人材の育成。	2		2	30
	◇	ショップビジネス学	池田 毅	ペットブームに乗って成長してきたペット業界に、専門の知識を持って就職していく中で一番不足しているペットビジネス市場の実態を把握し、基礎から実践マネジメントに至る内容を習得し即戦力を求めている業界のニーズに応えることができる人材育成。	2		2	30
	◇	プレゼンテーション	長澤さおり	プレゼンテーションとは聴衆へ、相手へ「贈り物」をすることである。聞き手が聞きたくなくなる為には、どうすればよいのか？その方法を理解し、実践していく。的確に分かりやすく説明して伝えることで、共感し理解してもらい行動化へと促す技術を習得する。	2	2		30
	◇	コンピュータ実務Ⅰ	頼實 一全	ビジネスの現場では、ワープロソフトによる一般的なビジネス文書の作成、表計算ソフトによる見積書・請求書の作成や売上分析など、Officeソフトの利用機会が多い。本講義では、ビジネス実務で役立つワープロソフト (Word) 及び表計算ソフト (Excel) の利用方法を習得することを目指す。	2	2		30
	◇	コンピュータ実務Ⅱ	頼實 一全	ビジネスの現場では、商品台帳管理、店舗台帳管理、売上台帳管理など、データベースソフトの利用機会が多い。本講義では、ビジネス実務で役立つデータベースソフト (Access) の利用方法を習得することを目指す。	2		2	30
専門科目	▲	動物看護研究	亀森 泰之 南 奈緒子	2年間で学んだ知識と経験をさらに広めるため、テーマを決めて研究、論文作成を行う。あわせて、学内修了研究発表会内で研究の成果を発表する。	13	14	12	390
	▲	トリミング研究	岡田隆三郎 岡本 侑也	2年間で学んできたグルーミングスキルを速成力と応用力をベースに仕上りの繊細さ、頭部、ボディの形態にベストバランスを創造する。				
	▲	ドッグトレーニング研究	亀森 泰之 湯浅 倫枝 南 奈緒子	動物の飼養及び健康管理を栄養学的観点から深めていき、研究、論文作成を行う。あわせて、学内修了研究発表会内で研究の成果を発表する。				
	▲	アクアリウム研究	富澤 直人	2年間で学んだ知識と経験をさらに広め、深め、研究内容を修了論文としてまとめる。TAとして人に指導、説明することを通じて、コミュニケーション力とリーダーシップとしての経験を学び、責任者としてマネージャーとして即戦力となることを学ぶ。				
研修科目	◆	業界研修		就労希望業種に業界研修として原則1週間の実習を行い、実際の仕事と社会体験を通じ、即戦力となる知識の経験を積む。	8	8	8	240
	▲	国内研修			1)	2)		30)
	▲	海外研修			2)	4)		60)
必要修得単位数・時間数					34	28	26	810

◇必修講義科目 ◆必修実習科目 ▲選択実習科目

※ 専門科目については、いずれか一科目を選択し、履修すること。

講義内容

授業科目	ビジネス基礎				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	前期	必修	講義	2単位
1. 担当者	池田 毅 実務経験：愛玩動物販売会社勤務				
2. 授業目的	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し経済社会の一員として望ましい心構えを身に付ける。				
3. 達成目標	ビジネス活動を行う上で必要とされている「豊かな人間性」「創造性」「ビジネス理解」「ビジネスの理解と実践力」を習得させることを目標とする。				
4. 授業時間外に必要な学修					
5. テキスト	ビジネス基礎 実教橋出版				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席及び小テスト・定期試験の結果で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	商業の学習ガイダンス				
2 回	商業の学習ガイダンス				
3 回	経済活動とビジネス				
4 回	経済活動とビジネス				
5 回	ビジネスと流通活動				
6 回	ビジネスと流通活動				
7 回	ビジネスと流通活動 小テスト				
8 回	企業活動とビジネスの担当者				
9 回	企業活動とビジネスの担当者				
10 回	ビジネスと売買取引				
11 回	ビジネスと売買取引				
12 回	ビジネスと売買取引 小テスト				
13 回	外国人とのコミュニケーション				
14 回	外国人とのコミュニケーション				
15 回	定期試験				
備考					

講義内容

授業科目	経済学入門				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	後期	必修	講義	2単位
1. 担当者	池田 毅 実務経験：愛玩動物販売会社勤務				
2. 授業目的	社会情勢を的確に判断できる人材の育成。				
3. 達成目標	現在の経済活動は生産活動と消費活動、及びこの二つを結びつける流通活動が合理的に組織された社会であることを理解することを目標とする。				
4. 授業時間外に必要な学修					
5. テキスト	マーケティング 実教橋出版				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席数、取り組み方、定期試験の結果で評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	現代社会とマーケティング				
2 回	市場調査 (STP)				
3 回	販売計画 (4P政策)				
4 回	販売計画 (ソーシャルマーケティング)				
5 回	販売計画 (戦略的マーケティング)				
6 回	消費者行動				
7 回	商品計画				
8 回	販売価格				
9 回	仕入計画				
10 回	商品管理				
11 回	販売促進				
12 回	販売価格				
13 回	販売経路				
14 回	顧客満足の実現				
15 回	定期試験				
備考					

講義内容

授業科目	ショップビジネス学				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	後 期	必 修	講 義	2 単位
1. 担当者	池田 毅 実務経験：愛玩動物販売会社勤務				
2. 授業目的	ペットブームに乗って成長してきたペット業界に、専門の知識を持って就職していく中で一番不足しているペットビジネス市場の実態を把握し、基礎から実践マネジメントに至る内容を習得し即戦力を求めている業界のニーズに応えることができる人材育成。				
3. 達成目標					
4. 授業時間外に必要な学修					
5. テキスト	資料に関しては、適時配布していく。				
6. 参考書	ペットショップ、ペットビジネス、ショップビジネス、その他業界資料				
7. 成績評価	出席率、定期試験、実技試験により判断。				
授業内容とスケジュール					
1 回	ペットビジネス入門				
2 回	ペットショップの職業理論				
3 回	ペットの販売とその流れ				
4 回	ペット販売の基礎知識（1）				
5 回	ペット販売の基礎知識（2）				
6 回	店舗のマネジメント（仕入れ）				
7 回	店舗のマネジメント（在庫管理）				
8 回	店舗のマネジメント（販売管理）				
9 回	接客の基本と実践について（1）				
10 回	接客の基本と実践について（2）				
11 回	トラブルについて（発生、解決）				
12 回	業界用語				
13 回	起業、開業について				
14 回	ペット業界の展望				
15 回	定期試験				
備 考					

講義内容

授業科目	プレゼンテーション				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	前 期	必 修	講 義	2 単位
1. 担当者	長澤 さおり 実務経験：人材育成コンサルタント業代表				
2. 授業目的	プレゼンテーションとは聴衆へ、相手へ『贈り物』をすることである。聞き手が聞きたくする為には、どうすればよいのか？その方法を理解し、実践していく。的確に分かりやすく説明して伝えることで、共感し理解してもらい行動化へと促す技術を習得する。				
3. 達成目標	発信側、聴衆側として、社会におけるコミュニケーション能力全般の向上を目指す。				
4. 授業時間外に必要な学修	プレゼンテーション・演説等が上手な人物について、その理由や具体的に事柄を考察してみる。				
5. テキスト	プレゼンテーション授業に関する配布プリント。				
6. 参考書					
7. 成績評価	期末筆記試験、実技試験の評定に授業態度等を考慮して総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	プレゼンテーションとは				
2 回	コミュニケーション能力				
3 回	伝わる話し方Ⅰ（ふさわしい言葉づかい）				
4 回	伝わる話し方Ⅱ				
5 回	印象の重要性				
6 回	緊張とは・ステートチェンジ				
7 回	オープンスタンス・PREP法				
8 回	話し方スキル向上の8つの観点				
9 回	模擬発表				
10 回	シナリオ作成Ⅰ				
11 回	シナリオ作成Ⅱ				
12 回	プレゼンテーション発表Ⅰ				
13 回	プレゼンテーション発表Ⅱ				
14 回	プレゼンテーション発表Ⅲ				
15 回	期末試験				
備 考					

講義内容

授業科目	コンピュータ実務 I				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	前期	必修	講義	2単位
1. 担当者	頼實 一全 実務経験：IT ソリューション会社勤務				
2. 授業目的	ビジネスの現場では、ワープロソフトによる一般的なビジネス文書の作成、表計算ソフトによる見積書・請求書の作成や売上分析など、Office ソフトの利用機会が多い。本講義では、ビジネス実務で役立つワープロソフト (Word) 及び表計算ソフト (Excel) の利用方法を習得することを旨とする。				
3. 達成目標	ビジネスの現場に必要な書類作成の応用スキルを身につけると共に、ビジネス文書作成の基礎知識についても習得していく。				
4. 授業時間外に必要な学修	講義の予習・復習、課題テストに向けた自習など。				
5. テキスト	杉本くみ子・吉田栄子 共著 「60 時間でエキスパート Word & Excel2007/2010」 実教出版				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席状況 (20%)、課題テスト (80%) の評価を基に評点を決定する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション、文書作成の基礎知識				
2 回	ワープロ活用：文字列操作				
3 回	ワープロ活用：段落操作				
4 回	ワープロ活用：図の操作				
5 回	ワープロ活用：表の操作				
6 回	ワープロ活用：文書の操作				
7 回	ワープロ活用：ファイル操作				
8 回	表計算活用：セル操作				
9 回	表計算活用：書式設定				
10 回	表計算活用：ワークシート操作				
11 回	表計算活用：グラフとオブジェクト				
12 回	表計算活用：データベース機能				
13 回	表計算活用：印刷とページ設定				
14 回	表計算活用：ファイル操作				
15 回	課題テスト、講義のまとめ				
備考					

講義内容

授業科目	コンピュータ実務 II				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	後期	必修	講義	2単位
1. 担当者	頼實 一全 実務経験：IT ソリューション会社勤務				
2. 授業目的	ビジネスの現場では、商品台帳管理、店舗台帳管理、売上台帳管理など、データベースソフトの利用機会が多い。本講義では、ビジネス実務で役立つデータベースソフト (Access) の利用方法を習得することを旨とする。				
3. 達成目標	ビジネスの現場に必要なデータベースによる台帳管理の基本スキルを身につけると共に、データベースの基礎知識についても習得していく。				
4. 授業時間外に必要な学修	講義の予習・復習、課題テストに向けた自習など。				
5. テキスト	実教出版編集部 「30 時間でマスター Access2013」 実教出版				
6. 参考書					
7. 成績評価	出席状況 (20%)、課題テスト (80%) の評価を基に評点を決定する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション、データベースの基本操作①				
2 回	データベースの基本操作②				
3 回	データベースのデータ編集①				
4 回	データベースのデータ編集②				
5 回	テーブルの操作①				
6 回	テーブルの操作②				
7 回	データベースの設計①				
8 回	データベースの設計②				
9 回	レポートの作成・印刷①				
10 回	レポートの作成・印刷②				
11 回	総合演習①				
12 回	総合演習②				
13 回	課題テスト①				
14 回	課題テスト②				
15 回	講義のまとめ				
備考					

講義内容

授業科目	動物看護研究				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	通 期	必 修	実 習	13 単位
1. 担当者	亀森 泰之、南 奈緒子 実務経験：家畜診療所勤務、動物病院勤務				
2. 授業目的	2年間で学んだ知識と経験をさらに広めるため、テーマを決めて研究、論文作成を行う。あわせて、学内修了研究発表会内で研究の成果を発表する。				
3. 達成目標	動物を看護することを通じて、コミュニケーション力とリーダーシップ力を身につけ、飼い主へ動物のケアについて指導する専門家として即戦力となることを目標とする。				
4. 授業時間外に必要な学修	日頃から書籍や新聞を使って情報収集するとともに、文章力と読解力を鍛えておく。				
5. テキスト	動物看護実習テキスト第2版／編集：山下真理子 他／インターズー				
6. 参考書	これまで使用してきた教科書、参考図書など。				
7. 成績評価	出席状況、課題提出、学内修了研究発表会での口頭発表により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション	16 回	データ収集①		
2 回	論文テーマ検討①	17 回	データ収集②		
3 回	論文テーマ検討②	18 回	データ収集③		
4 回	根拠論文検索と研究実施計画①	19 回	データ収集④		
5 回	根拠論文検索と研究実施計画②	20 回	論文作成①		
6 回	根拠論文検索と研究実施計画③	21 回	論文作成②		
7 回	データ収集①	22 回	論文作成③		
8 回	データ収集②	23 回	論文作成④		
9 回	データ収集③	24 回	論文作成⑤		
10 回	データ収集④	25 回	論文作成⑥		
11 回	データ収集⑤	26 回	発表資料作成①		
12 回	データ収集⑥	27 回	発表資料作成②		
13 回	データ収集⑦	28 回	発表資料作成③		
14 回	データ収集⑧	29 回	発表資料作成④		
15 回	中間発表	30 回	学内修了研究発表会での口頭発表		
備 考					

講義内容

授業科目	トリミング研究				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	通 期	必 修	実 習	13 単位
1. 担当者	岡田 隆三郎・岡本 侑也 (岡田) 動物関連会社代表、グルーミングスクール勤務 (岡本) ペットサロン勤務、グルーミングスクール勤務				
2. 授業目的	2年間で学んできたグルーミングスキルを速成力と応用力をベースに仕上がりの繊細さ、頭部、ボディの形態にベストバランスを創造する。				
3. 達成目標	3時間でのテディベアカットの完成を目指し、尚且トリミング学科1.2年生へのグルーミングスキルの指導力を鍛える。				
4. 授業時間外に必要な学修	グルーミングスキルを未熟な1.2年生にどのような言葉で、表現力で伝え技術に繋げることができるか日常から考えておく。				
5. テキスト					
6. 参考書	グラフィックトリミング テディベアカット インターズー、プロが教えるベストトリミング 第3巻 インターズー				
7. 成績評価	出席状況、授業の進捗状況、グルーミングの研究内容等総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	主にカット大種のグルーミング実習 時短方法論	16 回			個々のシニア犬に対するベストなグルーミング方法
2 回	〃	17 回			〃
3 回	〃	18 回			〃
4 回	〃	19 回			〃
5 回	〃	20 回			〃
6 回	〃	21 回			〃
7 回	〃	22 回			〃
8 回	〃	23 回			〃
9 回	〃	24 回			〃
10 回	〃	25 回			問題犬に対するやさしいグルーミング方法
11 回	個々のシニア犬に対するベストなグルーミング方法	26 回			〃
12 回	〃	27 回			〃
13 回	〃	28 回			〃
14 回	〃	29 回			〃
15 回	実習中での実技テスト	30 回			実技テスト
備 考					

講義内容

授業科目	ドッグトレーニング研究				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	前期	必修	実習	13単位
1. 担当者	亀森 泰之、湯浅 倫枝、南 奈緒子 実務経験：家畜診療所勤務、公立小・中学校常勤講師、動物病院勤務				
2. 授業目的	動物の飼養及び健康管理を栄養学的観点から深めていき、研究、論文作成を行う。あわせて、学内修了研究発表会内で研究の成果を発表する。				
3. 達成目標	動物の各ステージや病気などに合わせて、数値など科学的な根拠を基に動物や飼い主をサポートできる栄養士を目指す。				
4. 授業時間外に必要な学修	幅広い動物の食性について、栄養学的観点からどのような飼育管理が行われているのか興味を持って情報を収集する。				
5. テキスト	ペット栄養管理学会テキストブック／編集・日本ペット栄養学会／アドスリー				
6. 参考書	これまで使用してきた教科書、参考図書など。				
7. 成績評価	出席状況、課題提出、学内修了研究発表会での口頭発表により総合的に評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション	16 回	データ収集①		
2 回	論文テーマ検討①	17 回	データ収集②		
3 回	論文テーマ検討②	18 回	データ収集③		
4 回	根拠論文検索と研究実施計画①	19 回	データ収集④		
5 回	根拠論文検索と研究実施計画②	20 回	論文作成①		
6 回	根拠論文検索と研究実施計画③	21 回	論文作成②		
7 回	データ収集①	22 回	論文作成③		
8 回	データ収集②	23 回	論文作成④		
9 回	データ収集③	24 回	論文作成⑤		
10 回	データ収集④	25 回	論文作成⑥		
11 回	データ収集⑤	26 回	発表資料作成①		
12 回	データ収集⑥	27 回	発表資料作成②		
13 回	データ収集⑦	28 回	発表資料作成③		
14 回	データ収集⑧	29 回	発表資料作成④		
15 回	中間発表	30 回	学内修了研究発表会での口頭発表		
備考					

講義内容

授業科目	アクアリウム研究				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	通期	必修	実習	13単位
1. 担当者	富澤 直人 実務経験：熱帯魚輸入販売、観賞後関連書籍出版勤務、経営				
2. 授業目的	2年間で学んだ知識と経験をさらに広め、深め、研究内容を修了論文としてまとめる。TAとして人に指導、説明することを通じて、コミュニケーション力とリーダーシップとしての経験を学び、責任者としてマネージャーとして即戦力となることを学ぶ。				
3. 達成目標	知識と経験をさらに学び研究内容をまとめ論文作成、口頭発表を行う。TAとして人に指導、説明することを通じて、コミュニケーション力とリーダーシップとしての経験を積み、責任者としてマネージャーとして即戦力となることを目標とする。				
4. 授業時間外に必要な学修					
5. テキスト					
6. 参考書	これまで使用してきた教科書、参考図書。				
7. 成績評価	出席状況、課題提出、口頭発表等によって評価する。				
授業内容とスケジュール					
1 回	オリエンテーション	16 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
2 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	17 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
3 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	18 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
4 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	19 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
5 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	20 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
6 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	21 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
7 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	22 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
8 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	23 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
9 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	24 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の実施
10 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	25 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題のまとめ
11 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	26 回			第二回中間発表
12 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	27 回			T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題のまとめ
13 回	研究内容の中間発表	28 回			口頭発表会へ向けての発表練習
14 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	29 回			口頭発表会へ向けての発表練習
15 回	T,Aについてのガイダンス、実施、研究課題の決定、開始	30 回			口頭発表会へ向けての発表練習
備考					

講義内容

授業科目	業界研修				
	対象学科	開講時期	必修・選択	授業形態	単位数
	動物系総合学科研究科	通 期	必 修	実 習	8 単位
1. 担当者	専攻学科長、チューター、就職課、インターン実習先の担当者				
2. 授業目的	就労希望業種に業界研修として原則 1 週間の実習を行い、実際の仕事と社会体験を通じ、即戦力となる知識の経験を積む。				
3. 達成目標	就労希望業種に業界研修として原則 1 週間の実習を行い、実際の仕事と社会体験を通じ、即戦力となる知識の経験を積む。				
4. 授業時間外に必要な学修					
5. テキスト					
6. 参考書					
7. 成績評価	報告書などの提出、業界研修先からの評価表から総合的に認定される。				
授業内容とスケジュール					
1 回	実習希望、受け入れ実習先等を調整のうえ、随時実施する	16 回	実実習希望、受け入れ実習先等を調整のうえ、随時実施する		
2 回	〃	17 回	〃		
3 回	〃	18 回	〃		
4 回	〃	19 回	〃		
5 回	〃	20 回	〃		
6 回	〃	21 回	〃		
7 回	〃	22 回	〃		
8 回	〃	23 回	〃		
9 回	〃	24 回	〃		
10 回	〃	25 回	〃		
11 回	〃	26 回	〃		
12 回	〃	27 回	〃		
13 回	〃	28 回	〃		
14 回	〃	29 回	〃		
15 回	〃	30 回	〃		
備 考					